

学校自己点検・自己評価表(アーティスティックB横浜美容専門学校) 令和3年度

(評価期間:2021年4月1日～2022年3月31日)

1. 学校の教育目標

※担当する課程を選択

「わが学園は、教育を通して「努力心」「誠実心」「独立心」を養い、平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命とする」 本学園の建学の精神を基に、

- ①美と健康と癒しをテーマに、感性とロジックを融合させた教育を展開します。
- ②アーティスティックでビジネスマインドをもった美容師、ネイリスト、マイクアップアーティスト、エステティシャンを育成します。
- ③職業訓練学校の原点に立ち戻り、就職率を高め同時に就職後の定着率の高い人材育成に努めます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①働く意識の涵養を目指したビジネス教育の充実と自己啓発の促進。
- ②教育ストーリーに沿った楽しい教育の実現と在学生の退学率の低下。
- ③早期独立の目指すサロン実習及モデル実習
- ④授業カリキュラムの見直し及び産学連携教育の強化。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

※各項目の評価欄に4～1の数字を記入してください。

評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	4
・学校における職業教育の特色は何か (TB科…学生サロン「フェリーテエ」・エステティックサロン「Beauty Therapy Ai YOKOHAMA」)	4	3	2	1	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1	4
・学校の理念、目的、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けた方向づけられているか	4	3	2	1	4

①課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い来客実習を実施する回数が感染対策の一環として減少してしまった。
- ・日本で働く留学生を対象にできる授業内容や就職先の準備。

②今後の改善方策

- ・新型コロナウイルス感染対策で営業するサロン・企業の取り組みを参考にして可能な限り来客実習を実施する。
- ・産学連携により即戦力となる教育を適宜外部の見識者に情報収集の一環として実施する

③特記事項

（2）学校運営

評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
・目的に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されている	4	3	2	1	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1	4
・教務、財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1	4

①課題

・

②今後の改善方策

・

③特記事項

・

(3)教育活動

評 価 項 目	適切	ほぼ 適切	やや 不適切	不適切	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているのか	4	3	2	1	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1	4
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	3	2	1	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1	3

①課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大により研修が中止となり参加できない事もありました。また加えて授業により日程が調整を取れないで研修に参加できない時がある。
- ・授業の調整が取れない時期に参加したい研修があると授業担当の変更ができないため参加できない事がある。

②今後の改善方策

- ・各職員が計画的に上司と相談しながら授業変更等を行い積極的に研修に参加できるように努力する。

③特記事項

・

(4)学修成果

評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1	4
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1	4
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1	3
・卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1	3

①課題

- ・卒業生の住所や職場が変わると連絡先を把握する事が困難になる人がいる。
・美容部員の求人数が新型コロナウイルスの影響で大幅に減少している。
・退学者の理由は主に進路変更である。

②今後の改善方策

- ・卒業期に卒業生と情報交換できるように同窓会などの運営も学校側も主体的に運営する。特に学園の校友会組織を有効的に活用する。
・退学者を出さない様に全職員で入学前の学校説明をはじめ入学後も学生が何時でも相談や面談ができる環境を作る事に務める。(入学時のミスマッチを少なくする)

③特記事項

- ・新型コロナウイルス感染者の拡大により在学中の校友会活動や校外授業が困難な年であった。

(5)学生支援

評 価 項 目	適切	ほぼ 適切	やや 不適切	不適切	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1	4
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1	4
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	4
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	3	2	1	4

①課題

- ・保護者が見る事が出来る学園情報の公開

②今後の改善方策

- ・在籍する学生の保護者のみ見れる事が可能なサイトを構築する。

③特記事項

- ・インターネットを活用し学校と保護者及び学生と迅速に連絡が出来るようになった。(Googleクラスルームを導入)

(6)教育環境

評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	4
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1	4

①課題

- ・インターンシップについては新型コロナウイルス感染対策として見送る。

②今後の改善方策

- ・インターンシップに変わる新インターンシッププログラムを構築する。学生が一定期間1つのサロンに行く事らが多くのサロンが一定期間に協力してもら教育が受けられる集中型産学連携教育を構築。

③特記事項

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い海外及び国内の研修の実施は非常に困難であった。

(7)学生の受け入れ募集

評 価 項 目	適 切	ほ ぼ 適 切	や や 不 適 切	不 適 切	評 価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1	4

①課題

- ・募集停止にした後に、入学辞退者が出了時の追加募集の在り方。

②今後の改善方策

- ・関係する諸官庁に相談しながら法令順守しながら適切に進める。

③特記事項

・

(8)財務

評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1	4

①課題

- ・校舎も新築して10年となり施設のメンテナンスや設備・機器の修繕・交換が必要となってくる。

②今後の改善方策

- ・計画的に施設のメンテナンスや設備・機器の修繕・交換を行う。(国や県の補助金を利用する事や低金利の借入により実施する事も検討する)

③特記事項

- ・現在の校舎の借入金の返済が令和3年度で完済する事から収益は改善される。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1	4
・個人情報に關し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1	4
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1	4

①課題

.

②今後の改善方策

.

③特記事項

.

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1	4
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1	3

①課題

- ・神奈川県専修学校各種学校協会が主催する高校生を対象にした「仕事の学び場」では美容関連の仕事について体験・説明会を実施する。また、これまで高齢者施設を対象にした美容ボランティア活動は新型コロナウイルス感染対策のにより中止している。

②今後の改善方策

- ・新型コロナウイルスの感染者が減少し感染リスクが軽減されたら高齢者施設と検討して再開をしたい。

③特記事項

- ・教育訓練生は2021年度で支援を修了した。

(11)国際交流

評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1	4
・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1	4
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1	3

①課題

・美容分野での就職先の確保は困難。主な理由として入国管理局でビザがでない。今後の日本の行政と規制緩和を期待する。ただし東京都は特区として5年間程度は美容師は就労できるようになった。

②今後の改善方策

・大学卒業者を入学できるようにする。学校と企業サロンと就職できる特別な雇用関係を構築する。
・学校生活の支援や就職先について学校として整していく必要がある。

③特記事項

・

評価実施者： AB校職員

評価実施日： 2022年2月21日

を